

《 3月16日～31日の国内外外国為替市場動向 》

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
05/03/16 (水)	東京は前日からの流れを継いでドル弱含み。ただ夜半の米経常赤字を見極めたいとの雰囲気強い。欧米は結果ユーロ独歩高。米経常赤字の悪化やNY原油高がドルの弱材料で対ユーロ中心にドルが売られた。	・日銀決定会合で政策金利などの据え置き決定される ・2月の米鉱工業生産0.3%、同設備稼働率79.4、同住宅着工件数219.5万戸、04年米経常赤字6659億ドル	・日銀金融月報で景気判断が小幅上方修正 ・NY原油が史上最高値を更新、OPECが100万バレルの増産表明するも影響限定的	ドル円	ユーロ円	24H
				104.55	139.15	寄付
				103.90	138.86	安値
				104.70	139.93	高値
05/03/17 (木)	東京は一時ドル高に振れるも結局行っ来い。新規の材料に乏しく値動きは限定的に留まる。欧米は小幅円安。米経済指標は斑模様で材料視されず。ただ原油価格の動向をにらみつつ円高でない。	・SNBが政策金利の据え置き決定 ・ブッシュ大統領がUSTR代表にボートマン下院議員を指名 ・2月の米景気先行指数0.1%、3月FF連銀製造業指数11.4 ・原油続伸57.60ドルで最高値更新	・中国国家開発銀行総裁「人民元の変更は差し迫っていない」 ・仏財務相「ドル安は原油高の相殺につながっている」	ドル円	ユーロ円	24H
				104.22	139.74	寄付
				104.13	139.50	安値
				104.90	140.04	高値
05/03/18 (金)	東京は円が続落。ドル/円ではなく欧州通貨や資源国通貨のクロスで円売り目立つ。欧米はドル買いでスタートするも、上値は重く徐々に利食い売りなどに押されぼぼ行っ来いの商況に。	・3月のテレート短観製造業が18となり前月から2P改善 ・3月の米ミシガン大消費者信頼感指数92.9	・福井日銀総裁「量的緩和の枠組み、断固変更はない」 ・谷垣財務相「大規模介入なければ急激な円高で日本経済に壊滅的な影響」	ドル円	ユーロ円	24H
				104.56	139.88	寄付
				104.56	139.17	安値
				105.07	140.20	高値
05/03/21 (月)	東京休場で薄商いのなか、アジアはドル堅調裡、欧州財務相会議の決定も嫌気されユーロ売りドル買いへ。欧米はユーロが独歩安。露中銀発表も焼け石に水で、ユーロ/ドルは一日で実に200Pほどの下落を見せた。	・欧州財務相会議で「財政規律を求める安定と成長協定の緩和で合意」(20日) ・ロシア中銀がルーブルのバスケット構成比率を変更、ユーロを0.1から0.2へ引き上げ ・2月の米PPI0.4%	・メルシュECB政策委員「ECBは利上げを検討中、利下げではない」	ドル円	ユーロ円	24H
				104.70	139.40	寄付
				104.67	138.30	安値
				105.50	139.45	高値
05/03/22 (火)	東京は105円探みで揉み合い。夜半のFOMCに注目する向きが多く、商いは総じて手控えムード。欧米はドルが全面高の様相。FEDの利上げペースが今後加速するとの見方がドル買いを後押しした。	・FOMCで25BPの金利引き上げを決定、また声明で「慎重なペースで」との文言が維持されると同時に「過去数ヶ月でインフレ圧力が高まった」などとした ・2月の米PPI0.4%	・中国人民銀行総裁「為替改革で為替レートは一段と幅広く変動」	ドル円	ユーロ円	24H
				105.22	138.45	寄付
				104.85	137.90	安値
				105.69	138.90	高値
05/03/23 (水)	東京でドルは高寄りしたが需給的に頭も重く上げ渋り。ロンドンに向けてドルじり安推移。欧米は前日からの流れを受けたドル買い止まらず。ユーロ/ドルは1.30ドル割れ、ドル/円も106円台へ。	・2月の貿易黒字1兆933億円 ・米大統領が辞任するテラー財務次官の後任にティム・ブナム氏指名 ・3月の独IFO景況指数94.0 ・2月の米CPI0.4%、同中古住宅販売679万戸	・福井日銀総裁「金融政策で長期金利水準を決めることはできない」 ・テラー米財務次官「原油価格は高過ぎるが世界景気は良好」	ドル円	ユーロ円	24H
				105.58	138.05	寄付
				105.28	137.35	安値
				106.19	138.10	高値
05/03/24 (木)	東京はまたもや円独歩安。OP絡みの動きなどから投機筋の円売り止まらず。欧米は円安と言うよりユーロ安。イースターを前にした調整の動き進み、結果ドルが小じっかり。	・1月の第3次産業活動指数2.2% ・2月の米耐久財受注0.3%、同新規住宅販売122.6万戸	・英FT「ブラックストーンなど投資ファンドが伊テレコム会社ウインドに130億ユーロの買収提案」 ・スノー財務長官「ブッシュ政権は強いドルを支持している」	ドル円	ユーロ円	24H
				105.93	137.57	寄付
				105.93	137.53	安値
				106.58	138.52	高値
05/03/25 (金)	東京は目立った動意うかがえず。一時日経報道が物議醸すも否定コメントが出たことで影響は限定的。欧米は休場が多く、開店休業状態。	・主要アジアや欧州、米国など多くの市場が休場に ・日経新聞「ゴールドマンが西武グループに買収提案、9000億円」と報じるも双方から否定コメントでる	・OECD事務総長「原油高は世界的なインフにつながっていない」	ドル円	ユーロ円	24H
				106.41	137.59	寄付
				106.26	137.58	安値
				106.52	137.95	高値
05/03/28 (月)	東京は薄商いのなか、一瞬の隙をついてドルが急騰。OPアジアを突破して107円台への上伸を見せた。欧米はドルしっかり。投機筋が資源国通貨売りドル買いに動いているとされ、対ユーロなどでもドル堅調。	・主要な欧州市場は引き続き休場 ・スマトラ島付近でM8.5の地震発生	・内海元財務官「日米金利差拡大でドル高方向に変わる可能性出てきた」 ・仏経済財務産業相「ドル安は仏経済のリスク要因」	ドル円	ユーロ円	24H
				106.50	137.99	寄付
				106.50	137.65	安値
				107.37	138.30	高値
05/03/29 (火)	東京はレンジ内で揉み合い。一時は日銀短観悪化のウワサが台頭したものの、影響そのものは限定的。欧米でドルは再びしっかり。発表された米経済指標は悪かったが材料視されず。対ユーロ中心に小高い。	・2月完全失業率4.7% ・3月の米消費者信頼感指数102.4 ・ウィレンハフェット氏にAIGとの再保険契約に関与した疑い浮上	・中国人民銀行総裁「中国は為替制度を段階的に改革する」 ・OPEC議長「原油価格に落ち着き、追加増産の協議を中止した」	ドル円	ユーロ円	24H
				107.33	138.29	寄付
				106.95	138.25	安値
				107.62	139.08	高値
05/03/30 (水)	東京は行っ来い。悪化した経済指標から円売り先行するも続かず。利食いのドル売りなどに押された。欧米は翌日が四半期末にあたるため積極的な取り組みは見られず。原油動向を睨みつつ右往左往。	・2月鉱工業生産▲2.1% ・第4四半期米GDP確報値3.8%(改定値と同じ)	・バーナンキFRB理事「アジア中銀によるドルから他通貨へのシフトはない」 ・スノー財務長官「投資家は米財政赤字を懸念し始めている」	ドル円	ユーロ円	24H
				107.53	139.11	寄付
				107.11	138.71	安値
				107.67	139.37	高値
05/03/31 (木)	東京は大幅不足と言われた仲値を過ぎるとドル安進行。一時は106円台も。また円はクロスでも強い。欧米はドル安で寄り付くも、その後切	・04年度末日経平均は11715.39円 ・3月中の日銀介入実施はゼロ ・2月の米個人所得0.3%、同消費0.5%、同製造業受注0.2%、3月シカゴ	・福井日銀総裁「金融緩和政策はCPIが安定的ゼロ以上になるまで継続」 ・ゴールドマンサックス証券レポート「原油価	ドル円	ユーロ円	24H
				107.45	138.86	寄付
				106.65	138.31	安値
				107.50	139.13	高値

	り返しの動き。GSIレポートや強いシカゴPMIなどが好感された。	PMI69.2		格は1ハレル105ドルまで上昇する可能性がある	107.15	138.92	終値
--	----------------------------------	---------	--	-------------------------	--------	--------	----

*製作・著作「FXニューズレター」 URL; <http://www.fx-newsletter.com/>